

主要国・国際機関等のニュース記事一覧

注目 記事	No.	公開日	機関名	キーワード	ニュースタイトル(原文)	ニュースポイント(短文)	内容	感染症種別	ニュース種別										リンク1	リンク2	リンク3	リンク4	
									当該機関の 戦略/方針	ワクチン 開発進捗	取組		資金提供			イベント	組織設立・ 再編	感染症状況					
											当該機関	支援対象	重点感染症	その他 疾患	外部から 当該機関へ								
	1	2024/5/20	WHO	WHO認定機関 (WLAs), ワクチンア クセス	Largest number of regulatory agencies for medical products approved as WHO Listed Authorities	WHOがWHO認定機関 (WHO Listed Authorities, WLAs) にFDA、欧州医薬品規制ネット ワーク(EMRN)等新たな規制当 局を指定	WHOは、33の国と地域の規制当局をWHO認定機関(WLAs) に指定した。WLAsは医薬品やワクチンの品質、安全性、有効性 に関する最高レベルの規制基準があり、それを実践して、信頼で きる機関である。2022年3月発足以来、今回の登録で34加盟 国、36の規制当局がWLAに指定されたことになる。 新たに承認されたWLAsには、FDA、欧州医薬品規制ネットワ ーク(EMRN)が含まれる。さらに、2023年10月に指定されてい たシンガポールの保健科学庁(HSA)には、機能範囲の拡大が承 認された。 WHO事務局長は、主要な規制当局が加わったことで、より強固 な団結力を発揮し、より多くの人々のために、高品質で安全かつ 効果的な医薬品とワクチンへのアクセスを改善することが可能と なる、と述べている。	—	●											リンク			
	2	2024/5/22	WHO	リーチング・ザ・ラス ト・マイル(RLM), NTDs, マラリア, 気 候変動	New research flags the urgent need for research and evidence on the impact of climate change on neglected tropical diseases and malaria	WHOタスクチームが「リーチン グ・ザ・ラスト・マイル(RLM)と共 同で顧みられない熱帯病(NTD s)とマラリアに対する気候変動 の影響に関する研究とエビデン スが緊急に必要であるという研 究を発表	WHOの「気候変動と顧みられない熱帯病(NTDs)およびマラリ アに関するタスクチーム」は、リーチング・ザ・ラスト・マイル (RLM)と共同で、スコーピング・レビューを発表した。 その結果、人為的な気候パターンの変化がマラリアとNTDsに与 える実際の影響と潜在的な影響について、まだ十分な理解が得 られていないことが明らかになった。 筆者らは、レビューで示された知見は、気候変動がマラリアと NTDsに及ぼす影響を、よりよく理解し予測するために、より包 括的で協力的かつ標準化されたモデリングが必要であると述べ ている。また、タイムリーでエビデンスに基づいた介入策の開発 を支援し気候変動が人間の健康に及ぼす最悪の結果を予測し緩 和するために、研究への投資拡大が緊急に必要であるとも述べ ている。	マラリア, NTDs			●									リンク			
★	3	2024/5/23	CEPI	オックスフォード大学 パンデミック科学研 究所, シミュレーション	University of Oxford pandemic computer simulations to guide future vaccine trials CEPI	オックスフォード大学が次のパン デミックを引き起こす可能性が 最も高いウイルスに対する世界 の対応をモデル化する新しいコ ンピューター・シミュレーション を開始	オックスフォード大学は、次のパン デミックを引き起こす可能性が最も高いウイルスのいくつかに対 する世界の対応を強化する方法をモデル化する新しいコンピュ ーター・シミュレーションを開始した。 本プロジェクトに対してCEPIから最大240万ドルの資金提供を 受け、研究者たちは、ワクチン臨床試験がどのように実施され、 どのような結果をもたらす可能性があるかをモデル化するため に、致死的な疾病発生の現実のシナリオをシミュレートする。 今回対象の感染症は、ニパウイルス、チクングニア熱、ラッサ熱、 リフトバレー熱、エボラ出血熱とその関連ウイルス、コロナウイル ス、Disease Xである。これらはCEPI、WHOの研究開発計画 (R&D Blueprint)においてプライオリティが置かれている。	ニパウイルス、 チクングニア 熱、ラッサ熱、リ フトバレー熱、エ ボラ出血熱とそ の関連ウイル ス、コロナウイル ス、Disease X				●								リンク			
	4	2024/5/23	WHO	世界保健総会 (WHA)、国際保健規 則、パンデミック	"All for Health, Health for All" sets the stage for the Seventy-seventh World Health Assembly	2024年5月27日～6月1日に 開催予定の第77回世界保健総 会(WHA)で、パンデミックの予 防、準備、対応に関する合意と国 際保健規則の改正等が議論され る予定	WHOの年次総会である第77回世界保健総会(WHA)が「すべ ての健康のために、健康のためのすべて」をテーマに、 2024/5/27～6/1の日程で開催される予定である。この総会 は、気候変動による緊急事態や、高血圧や肥満といった疾患の 増加の中で、HIV、麻疹、ポリオといった既存の世界的な保健上 の課題に取り組むための重要なプラットフォームとしての役割を 果たす。 保健総会で期待される重要な瞬間のひとつは、パンデミックの 予防、準備、対応に関する合意と国際保健規則の改正であり、世 界的な準備と対応メカニズムを強化するための加盟国による協 調的な努力を示すものである。 5/26の開会式では、WHOへの持続可能な資金拠出を確保す るため、WHO投資ラウンドへの取り組みが開始される。さらに、 5/28には、WHOの第3次投資案件が発表され、2025年から 2028年までのWHOの戦略である第14次一般活動計画 (GPW14)が完全に実行された場合、救われる命がさらに増え るという価値提案が説明される。	—	●											リンク			
	5	2024/5/24	WHO	世界保健総会 (WHA)、パンデミック 協定	WHO Member States agree to share outcomes of historic IHR, pandemic agreement processes to World Health Assembly	WHO加盟国は国際保健規則 (IHR)とパンデミック協定の交 渉の結果を、2024/5/27から 開催される世界保健総会で共有 することに合意	WHO加盟国は、将来のパンデミックやアウトブレイクに対応する ための世界的な能力強化を目的とした集中的な交渉を終了し、 2024/5/27から開催される世界保健総会での審議に向け、そ の内容を提出することに合意した。 この交渉では、国際保健規則(2005年)の一連の改正と、史上 初のパンデミック協定、条約、その他の法的文書を作成するた め、2つの並行したプロセスが実施された。5月27日から6月1 日にかけて開催される第77回世界保健総会では、両プロセスの 成果と次のステップについて検討される。	—	●											リンク			

★	6	2024/5/24	WHO	Mpox, 戦略的枠組み	WHO releases a strategic framework for enhancing prevention and control of mpox	WHOがmpox の発生を予防・制御し、人から人への感染をなくし、動物から人へのウイルスの流出を減らすための指針となる新たな戦略的枠組み(The Strategic framework for enhancing prevention and control of mpox (2024-2027))を発表	WHOが発表したmpoxの予防と制御に関する新たな戦略的枠組み(The Strategic framework for enhancing prevention and control of mpox (2024-2027))は、保健当局、地域社会、その他の関係者が、mpoxの発生を予防・制御し、人から人への感染をなくし、動物から人へのウイルスの流出を減らすための指針となるものである。Mpox には、クレードIとクレードIIの2つの異なるクレード(系統)があり、2017年にIIのクレードに関連する大規模なmpoxの発生が始まり、2022年以降、世界中に広がった。これはほぼ沈静化したものの、現在も症例と死亡例が報告され続けており、低レベルの感染が世界中で続いていることを示している。新たな枠組みは、世界中の保健当局、地域社会、関係者が、あらゆる状況においてMpox の発生を制圧し、mpox の研究と対策へのアクセスを進め、人獣共通感染症を最小限に抑えるためのロードマップを提供するものである。	Mpox	●		●									リンク			
	7	2024/5/24	WHO	世界保健統計2024, 平均寿命	COVID-19 eliminated a decade of progress in global level of life expectancy	WHOは世界保健統計2024にてCOVID-19パンデミックにより全世界の平均寿命が低下したことを発表	WHOは世界保健統計2024にて、2019年から2021年にかけて、世界の平均寿命は1.8年低下して71.4年になり、世界の健康寿命も1.5年低下し、2021年には61.9年となったことを発表した。これらは、2012年水準であり、10年近くの進歩が消失したことを示している。WHO事務局長は、このような消失があったからこそ、新たなパンデミック協定は非常に重要であり、グローバルな保健の安全保障を強化するだけでなく、保健への長期的な投資を保護し、国内および国家間の公平性を促進するのだと述べている。	コロナウイルス感染症			●								リンク				
	8	2024/5/24	NIH, NIAID	FDA, インフルエンザ, 牛乳	High H5N1 influenza levels found in mice given raw milk from infected dairy cows National Institutes of Health (NIH)	NIAIDによって資金提供された研究がH5N1インフルエンザ感染動物の生乳の摂取が動物においてH5N1感染リスクがあることを示唆	NIAIDによって資金提供されたNew England Journal of Medicineに掲載された研究結果によると、H5N1インフルエンザ感染牛の生乳をネズミに投与すると、呼吸器官に高いウイルス量が、他の重要器官には低いウイルス量が確認された。これは、動物の生乳摂取はH5N1感染のリスクをもたらす可能性があることを示しており、ヒトにおける潜在的リスクについても疑問を投げかけている。米国食品医薬品局(FDA)が実施した乳製品に関する調査ではすべてのサンプルにおいてウイルスは陰性を示しており、商業用ミルクの供給が安全であると現時点ではエビデンスから総合的に判断している。	インフルエンザ				●							リンク	リンク	リンク		
	9	2024/5/28	WHO	世界保健総会(WHA), パンデミック協定, 国際保健規則(IHR)	WHO Member States agree way forward to conclude Pandemic Agreement	WHA加盟国は世界保健総会中に国際保健規則(IHR, 2005)の改正パッケージを最終化することとパンデミック協定を締結するためのタイミング、形式、プロセスに合意することを目標として取り組むことに合意	5月28日の世界保健総会(WHA)では、加盟国がパンデミック協定を策定し、国際保健規則 (IHR, 2005)を強化するために過去2年間に達成した進歩を確認した。ジュネーブで開催されている第77回世界保健総会の政府代表たちは、これら2つの取り組みを推進するために協議を行っており、将来のパンデミックの脅威に対する予防と対応能力を向上させることを目指している。WHA加盟国は6月1日に終了する世界保健総会中に国際保健規則(IHR, 2005)の改正パッケージを最終化することとパンデミック協定を締結するためのタイミング、形式、プロセスに合意することを目標として取り組むことに合意した。	ー	●										リンク				
★	10	2024/5/28	CEPI	アフリカCDC, 将来的なパンデミック, アフリカにおけるワクチン製造	Africa CDC and CEPI deepen partnership to fortify African preparedness against disease outbreaks CEPI	CEPIとアフリカCDCはアフリカにおける伝染病とパンデミックの予防、準備、対応を強化するためのパートナーシップを拡大する覚書に署名	CEPIとアフリカCDCはアフリカにおける伝染病とパンデミックの予防、準備、対応を強化するためのパートナーシップを拡大する覚書に署名した。両組織はアフリカのワクチン研究、開発、持続可能な製造を促進し、新興感染症に対する迅速かつ公平な対応を促進するために協力する予定である。また、アフリカCDCには、2040年までにアフリカで必要なワクチンの内の60%をアフリカで製造するという目標があり、このためにもパートナーシップは拡大された。	ー	●										リンク				
	11	2024/5/28	UNICEF, WHO	麻疹, ワクチンで予防可能な疾患(VPD)	Measles cases across Europe continue to surge, putting millions of children at risk	WHOとユニセフによる欧州での麻疹蔓延の警告	WHOとユニセフは、欧州全域で麻疹患者が急増し続けており、2024年の麻疹患者数が2023年の総患者数を間もなく上回ると警告した。これは、COVID-19の流行時にワクチンで予防可能な疾患 (VPD)に対する予防接種を受けなかった小児が増えたこと、そして2021年と2022年のワクチン接種率の回復が遅いことが要因である。ユニセフの欧州・中央アジア地域事務局長は、麻疹患者の増加は予防接種率が低下していることを明らかに反映しており、保健システムを強化し、効果的な公衆衛生対策を実施するための政府の緊急行動が必要であると述べている。	麻疹										●	リンク	リンク			
★	12	2024/5/28	CEPI	韓国KDCA	CEPI teams up with Korea's pandemic agency to fight future disease outbreaks CEPI	CEPIがKDCAとの提携発表	CEPIは韓国疾病管理本部(KDCA)と連携し、将来的なパンデミックから韓国と世界を守る計画を進めることを発表した。両組織はMERS、エボラ、Mpoxなどの既知の感染症やDisease Xのような未知の感染症対応するために、ワクチンなどの生物学的対策を開発するために協力することとなる。	MERS, エボラ, Mpox, Disease X	●										リンク				
★	13	2024/5/28	WHO	WHO4力年戦略	WHO's investment case launch draws expressions of support, pledges to sustainably finance four-year strategy	WHOが4力年戦略の内容と戦略への投資呼びかけを発表	WHOは「2025-2028年戦略」の投資案件を発表し、4,000万人の命を救い、60億人の健康を改善するための投資を求めた。これには、加盟国やEUからの支援および資金提供の約束が表明されている。また、本事例による活動により、感染症などの危険因子に対して、どのように活動を行えば命を救うことができるのかを説明しており、今後4年間の活動例も示されている。	ー	●		●								リンク				

